

明日香村地域おこし協力隊活動報告書 2024年9月 徳力一志

今月も猛暑日が続きましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。私は完全に油断しており何度か死にかけました。

特にビニールハウス内の温度は40度を当たり前のように超え、その中でもすくすくと育つ植物たちの逞しさたるや是非とも見習いたいものです。



地域振興公社によって栽培された秋きゅうり。売れ行きも好調で、全て完売したそうです。私自身今回初めて育てましたが、作業を重ねるうちにきゅうりという植物の構造を掴めていく感覚がたまりませんでした。

先月ハウス内で作付けしたきゅうりは無事育ち、収穫作業を行いました。

一日で600本を超えることもざらにあり、農家を目指す身としてはこれ以上ない多幸感です。



田んぼ周りの草刈りを行う私と「古代稲を愛でる会」で撮影した神丹穂の風景。稲作は村内で米農家をされている方の指導のもとで勉強中です。稲は全て無農薬、無肥料で栽培されており、手間はかかりますが村の環境、景観保護にも繋がります。

稲も続々と出穂し農村ならではの美しい景色を作り出してくれました。中でも国営飛鳥歴史公園、キトラ古墳地区内で栽培されている古代種「神丹穂」は真っ赤な穂を付け、幻想的な風景となっていました。

今回そこで毎年開催されている「古代稲を愛でる会」の設営、演目に参加しました。獣害をテーマに猪役として会場で暴れ、最後取り押さえられ倒されました。獣害が深刻な問題になっている昨今、改めてどう共存していくのか考え、答えが出せるように頑張ります。



演目で着用した衣装。本物の鹿の毛皮と製麻を使用して麻飾り職人の手によって作成されました。取り組む中で新しい出会いも沢山あり、まだまだ世の中知らないことだらけだと刺激になりました。

来月はいよいよ稲刈りが始まります。今年はお米の品不足もあり稲作の重要性を皆考えるきっかけとなりました。

私自身直接携わる身として真剣に向き合おうと思います。